

第1学年 音楽科



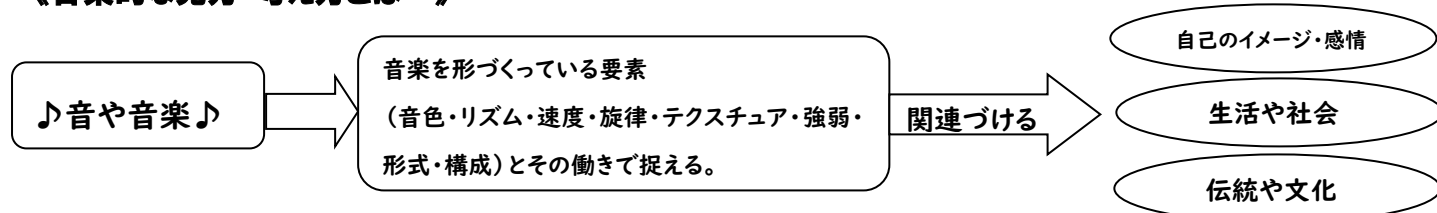
【1 音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【2 身につけたい力】

- (1)音楽活動の体験を通して音楽活動に対する興味関心を持ち、意欲的に取り組み、生活を**明るく豊かなもの**にできる力
→**興味・関心を持って音楽を見たり聴いたり表現し、その力を生活の中でも活かす！**
- (2)様々な音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽活動の基礎的な能力を身につけ、創意工夫して**表現できる**力
→**いいなあ！素敵だなあ！心が癒やされるなあ…という気持ちを大切にし、音楽に取り組む上での基礎・基本の力をつけ、自分が感じることを表現しよう。**
- (3)音楽文化についての理解を深め、**幅広く**鑑賞する力
→**日本、世界に目を向けて色々なジャンルの音楽があることを知り、興味を持って見る聴く力をつけよう！**

《音楽的な見方・考え方とは…》



【3 学習内容及びねらい】

音楽の授業では主に ①歌唱 ②器楽 ③創作 ④鑑賞 の分野に分かれ、「表現」と「鑑賞」の活動がある。

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	・「校歌」「南風」「My Voice!」歌い方について ・合唱:「We' ll Find The Way〜はるかな道へ」 ・鑑賞:「春」 ・器楽:「打楽器のための小品」	・新しい友達と元気に歌い、基本的な歌い方を確認しパート練習の仕方を学ぶ。 ・音楽を想像豊かに想像しながら聴く。弦楽器を知る。 ・リズム感を養い、強弱記号を覚える。
2 学 期	・合唱コンクールの準備・練習 ・鑑賞・歌唱:「主は冷たい土の中に」、「赤とんぼ」 ・鑑賞:日本の民謡、アジアの諸民族の音楽 ・鑑賞:「魔王」 ・創作「ガレージバンドで創作しよう」	・クラスで協力し、パートごとに自分たちの力で歌の練習をすることができるようにする。 ・日本やアジアの音楽に親しみをもち、色々な楽器の特徴を学ぶ。 ・歌曲の魅力や歌手の表現力の豊かさを味わう。 ・ガレージバンドを使いこなせるようにし、自由に音楽を創作する。
3 学 期	・器楽:箏で「さくら」を弾けるようにしよう ・鑑賞:雅楽「越天楽」 ・創作:「イメージをもとに音楽を作ろう」	・日本の楽器に触れ、「さくらさくら」を演奏する。 ・日本の地方に伝わる伝統的な音楽を知る。 ・イメージから音を見つけ、場面にあう音楽を作る。

【4 授業の持ち物】

5点セット ①教科書1 ②器楽の教科書 ③コーラスフェスティバル ④ファイル ⑤筆記用具(蛍光ペン)

【5 授業の約束】



その1 余計な **おしゃべり** は、絶対にしない！



音楽室の席はパートごとに座るので、仲の良い友達が近くになる場合があります。嬉しくて話したくなってしまうかもしれませんが、授業第一！！授業を中断させないために、人に迷惑をかけるためにも、当たり前のことです。どうしてもお話したかったら、すべて歌声にしてください♪

その2 話を良く **聴き** 行動し、**協力** して練習をする！！



授業によっては、パートやグループに分かれて活動や練習することが多くあります。みんなだけで協力して練習できるように先生の話、友達の意見をしっかりと聴きましょう。練習は自分達で考えて進めていく場面も多くあります！

その3 恥ずかしがらず、**挑戦** する！！ 仲間を **認めよう** ！



歌を歌うことや演奏することが苦手な人もいます。自分を表現するって勇気がいることですよね。その勇気が出るには、周りの仲間との関係が大切です！自分に少しの自信を持って1歩前へ。一人ひとりの気持ちが合わさると…「みんなと音楽するって楽しい！」と感じられるはずです♪

その4 **忘れ物** はしない！提出物は期限までに必ず出す！！



授業を受ける姿勢として大切なことです。忘れ物があると1時間の授業が有意義に活動できません。プリントの提出、毎時間の評価表の提出。自分がしっかりと授業を受けるために準備し、自分の感じていることや考えたことを丁寧に記入して提出しましょう。

授業での活動がとても大切になります。音楽を聴く、話を聴く姿勢、練習の様子や自分の考えを書くことをしっかり行いましょう。

【6 評価の観点と評価の方法】

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
内容	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。 知識 音楽活動を通して、感性などを働かせて感じ取り、理解したものを自分で学んでいく。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて意図をもち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わっている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・実技テスト (歌のテスト、楽器のテストや発表会の様子) ・授業中の練習の様子 ・定期テスト	・実技テスト (歌のテスト、楽器のテストや発表会の様子) ・定期テスト ・プリントの記入内容 (学習内容に合わせて自分の考えや音楽的要素が理解できているか)	・授業中の態度 (話を聴いているか しっかり歌っているか活動しているか) ・定期テスト ・提出物の取り組み状況 (毎時間の自己評価表提出 各学期のプリント提出)

「知覚」(聴き取る)とは…

客観的事実 (みんなの考えがそろってほしいもの)

「感受」(感じ取る)とは…

客観的事実のみでなく感じたこと(答えのない世界。一人一人違ってよいもの)

第2学年 音楽科

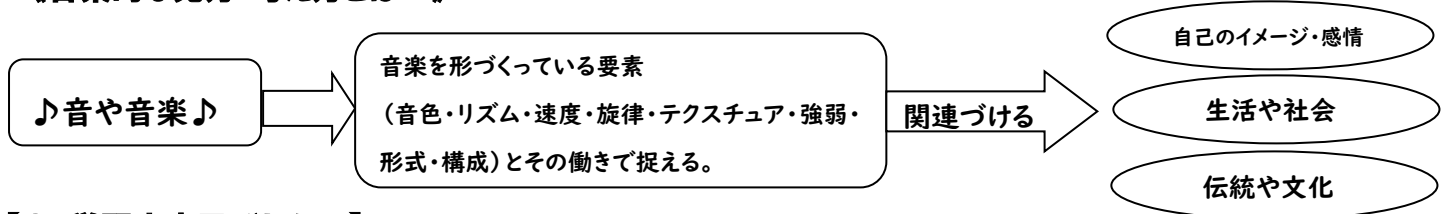
【1 音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【2 身につけたい力】

- (1) 音楽活動の体験を通して音楽活動に対する興味関心を持ち、意欲的に取り組み、生活を**明るく豊かなもの**にできる力
→興味・関心を持って音楽を見たり聴いたり表現し、その力を生活の中でも活かす！
- (2) 様々な音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽活動の基礎的な能力を身につけ、創意工夫して**表現できる**力
→いいなあ！素敵だなあ！心が癒やされるなあ…という気持ちを大切にし、
音楽に取り組む上での基礎・基本の力をつけ、自分が感じることを表現しよう。
- (3) 音楽文化についての理解を深め、**幅広く**鑑賞する力
→日本、世界に目を向けて色々なジャンルの音楽があることを知り、興味を持って見る聴く力をつけよう！

《音楽的な見方・考え方とは…》



【3 学習内容及びねらい】

音楽の授業では主に ①歌唱 ②器楽 ③創作 ④鑑賞 の分野に分かれ、「表現」と「鑑賞」の活動がある。

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	- 合唱「夏の日の贈り物」「翼をください」 - 鑑賞：「フーガト短調」 - 器楽：リズムゲーム、リズムアンサンブル - 合唱コンクール学年曲練習	- パートリーダーを中心に協力体制を自分達で作る。 - 曲の構造を理解し、パイプオルガンの音色に親しむ。 - パートの役割を理解して、アンサンブルを楽しむ。 - しっかりと音取りをおこない音程を覚える。
2 学 期	- 合唱コンクールクラス曲練習 - 鑑賞：「交響曲第5番 ハ短調」 - 創作：「リズム、和声を考えて音楽をつくろう」 - 歌唱：「荒城の月」「浜辺の歌」「夏の思い出」	- ハーモニーや強弱などを工夫し、聴き手に訴えかける感動的な合唱を作り上げる。 - 曲の構造を理解しながら音楽を聴く。オーケストラの構成や楽器の構造、作曲家について知る。 - リズムを考え、自分で音を考えよう。 - 日本の歌に親しみを持って歌う。
3 学 期	- 鑑賞：オペラと歌舞伎 - 器楽：箏の色々な奏法を学ぼう - 創作：「さくらさくら」の前奏を考えよう - 三送会や卒業式に向けての合唱練習	- 総合芸術であるオペラの魅力を知る。 - 色々な奏法を学び、「さくらさくら」のオリジナル前奏をつくろう。 - 感謝の気持ちを音楽（歌）で表現する。

【4 授業の持ち物】

6点セット

- ①教科書2・3上 ②教科書2・3下 ③器楽の教科書
④コーラスフェスティバル ⑤ファイル ⑥筆記用具（蛍光ペンも）

【5 授業の約束】



その1 余計な **おしゃべり** は、絶対にしない！



音楽室の席はパートごとに座るので、仲の良い友達が近くになる場合があります。嬉しくて話したくなってしまうかもしれませんが、授業第一！！授業を中断させないために、人に迷惑をかけるためにも、当たり前のことです。どうしてもお話したかったら、すべて歌声にしてください♪

その2 話を良く **聴き** 行動し、協力して練習をする！！



授業によっては、パートやグループに分かれて活動や練習することが多くあります。みんなだけで協力して練習できるように先生の話、友達の意見をしっかりと聴きましょう。練習は自分達で考えて進めていく場面も多くあります！

その3 恥ずかしがらず、**挑戦** する！！ 仲間を認めよう！



歌を歌うことや演奏することが苦手な人もいます。自分を表現するって勇気がいることですよね。その勇気が出るには、周りの仲間との関係が大切です！自分に少しの自信を持って1歩前へ。一人ひとりの気持ちが合わさると…「みんなと音楽するって楽しい！」と感じられるはずです♪

その4 **忘れ物** はしない！提出物は期限までに必ず出す！！



授業を受ける姿勢として大切なことです。忘れ物があると1時間の授業が有意義に活動できません。プリントの提出、毎時間の評価表の提出。自分がしっかりと授業を受けるために準備し、自分の感じていることや考えたことを丁寧に記入して提出しましょう。

授業での活動がとても大切になります。音楽を聴く、話を聴く姿勢、練習の様子や自分の考えを書くことをしっかり行いましょう。

【6 評価の観点と評価の方法】

観点	④ 知識・技能	⑤ 思考・判断・表現	⑥ 主体的に学習に取り組む態度
内容	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。 知識 音楽活動を通して、感性などを働かせて感じ取り、理解したものを自分で学んでいく。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。 ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて意図をもち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わっている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・実技テスト (歌のテスト、楽器のテストや発表会の様子) ・授業中の練習の様子 ・定期テスト	・実技テスト (歌のテスト、楽器のテストや発表会の様子) ・定期テスト ・プリントの記入内容 (学習内容に合わせて自分の考えや音楽の要素が理解できているか)	・授業中の態度 (話を聴いているか しっかり歌っているか活動しているか) ・定期テスト ・提出物の取り組み状況 (毎時間の自己評価表提出 各学期のプリント提出)

「知覚」(聴き取る)とは…

客観的事実 (みんなの考えがそろってほしいもの)

「感受」(感じ取る)とは…

客観的事実のみでなく感じたこと (答えのない世界。一人一人違ってよいもの)

第3学年

音楽科

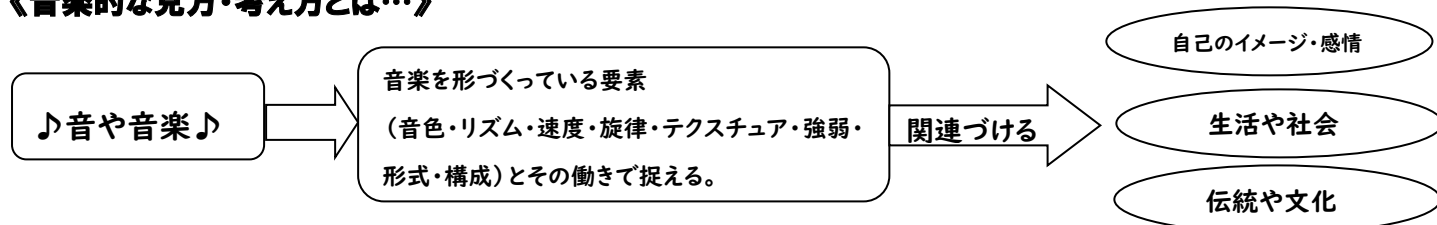
【1 音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【2 身につけたい力】

- (1) 音楽活動の体験を通して音楽活動に対する興味関心を持ち、意欲的に取り組み、生活を**明るく豊かなもの**にできる力
→興味・関心を持って音楽を見たり聴いたり表現し、その力を生活の中でも活かす！
- (2) 様々な音楽のよさや美しさを感じ取り、音楽活動の基礎的な能力を身につけ、創意工夫して**表現できる**力
→いいなあ！素敵だなあ！心が癒やされるなあ…という気持ちを大切にし、
音楽に取り組む上での基礎・基本の力をつけ、自分が感じることを表現しよう。
- (3) 音楽文化についての理解を深め、**幅広く**鑑賞する力
→日本、世界に目を向けて色々なジャンルの音楽があることを知り、興味を持って見る聴く力をつけよう！

《音楽的な見方・考え方とは…》



【3 学習内容及びねらい】

音楽の授業では主に ①歌唱 ②器楽 ③創作 ④鑑賞 の分野に分かれ、「表現」と「鑑賞」の活動がある。

学期	学習内容	学習のねらい
1 学 期	・歌唱：「花」「花の街」 ・鑑賞：「ボレロ」 ・鑑賞：歌劇「アイーダ」より	・パートリーダーが中心となり協力体制を作る。 ・音楽の特徴や背景を理解してその魅力を味わう。 ・総合芸術であるオペラの魅力を知る
2 学 期	・合唱コンクールの準備・練習 ・器楽：「打楽器アンサンブル」 ・鑑賞：「ブルタバ（モルグウ）」 ・創作：自分の思いを音楽にしよう！	・歌詞の内容をよく理解するとともに、自分の感情を歌を通して豊かに表現する。 ・小物楽器の奏法を知り、グループごとにテクスチャと強弱を工夫する。 ・交響詩の意味を知り、曲の構造を理解しながら音楽を聴き、作曲家について知る。 ・言葉と音の関係を考え、音楽づくりをする。
3 学 期	・歌唱：「早春賦」 ・伝統音楽に触れる 鑑賞「能」 ・器楽：箏で色々な曲を弾けるようにしよう ・三送会や卒業式に向けての合唱練習	・日本の伝統的な歌唱曲を知る。 ・日本の歴史的な音楽を知り、日本文化を考える。 ・日本の楽器に触れ、箏で様々な曲を演奏する。 ・感謝の気持ちを音楽（歌）で表現する。

【4 授業の持ち物】

6点セット

- ①教科書2・3上 ②教科書2・3下 ③器楽の教科書
④コーラスフェステバル ⑤ファイル ⑥筆記用具（蛍光ペンも）

【5 授業の約束】

その1 余計な **おしゃべり** は、絶対にしない！



音楽室の席はパートごとに座るので、仲の良い友達が近くになる場合があります。嬉しくて話したくなってしまうかもしれませんが、授業第一！！授業を中断させないために、人に迷惑をかけないためにも、当たり前のことです。どうしてもお話したかったら、すべて歌声にしてください♪



その2 話を良く **聴いて**、行動し協力して練習をする！！



授業によっては、パートやグループに分かれて活動や練習することが多くあります。みんなだけで協力して練習できるように先生の話、友達の意見をしっかりと聴きましょう。練習は自分達で考えて進めていく場面も多くあります！

その3 恥ずかしがらず、**挑戦** する！！ **仲間を 認めよう** ！



歌を歌うことや演奏することが苦手な人もいます。自分を表現するって勇気がいることですよね。その勇気が出るには、周りの仲間との関係が大切です！自分に少しの自信を持って1歩前へ。一人ひとりの気持ちが合わさると…「みんなと音楽するって楽しい！」と感じられるはずです♪

その4 **忘れ物** はしない！提出物は期限までに必ず出す！！



授業を受ける姿勢として大切なことです。忘れ物があると1時間の授業が有意義に活動できません。プリントの提出、毎時間の評価表の提出。自分がしっかりと授業を受けるために準備し、自分の感じていることや考えたことを丁寧に記入して提出しましょう。

授業での活動がとても大切になります。音楽を聴く、話を聴く姿勢、練習の様子や自分の考えを書くことをしっかり行いましょう。

【6 評価の観点と評価の方法】

観点	⑦ 知識・技能	⑧ 思考・判断・表現	⑨ 主体的に学習に取り組む態度
内容	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。 知識 音楽活動を通して、感性などを働かせて感じ取り、理解したものを自分で学んでいく。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受ける。 ・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて意図をもち、音楽を評価しながらよさや美しさを味わっている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・実技テスト (歌のテスト、楽器のテストや発表会の様子) ・授業中の練習の様子 ・定期テスト	・実技テスト (歌のテスト、楽器のテストや発表会の様子) ・定期テスト ・プリントの記入内容 (学習内容に合わせて自分の考えや音楽的要素が理解できているか)	・授業中の様子 (話を聴いているか しっかり歌っているか活動しているか) ・定期テスト ・提出物の取り組み状況 (毎時間の自己評価表提出 各学期のプリント提出)

「知覚」(聴き取る)とは…

客観的事実 (みんなの考えがそろってほしいもの)

「感受」(感じ取る)とは…

客観的事実のみでなく感じたこと (答えのない世界。一人一人違つてよいもの)